

会議録

会議の名称	第48回茨木市こども育成支援会議
開催日時	令和4年11月14日（月） 午後6時00分～午後7時24分
開催場所	オンライン会議、市役所本館6階第1会議室（職員）ほか
出席委員	上田綾委員、上田沙知絵委員、大高委員、久保委員、下田平委員 西川委員、畑瀬委員、濱委員、濱園委員、福田委員、三角委員、宮島委員 宗清委員、脇條委員 （五十音順）
欠席委員	石井委員、加藤委員、北野委員、棚田委員、西之辻委員、前田委員 （五十音順）
事務局	山寄こども育成部長、東井こども政策課長、村上子育て支援課長、 中路保育幼稚園総務課長、下菌保育幼稚園事業課長、 山内学童保育課長、松山人権・男女共生課長、 青木健康づくり課長、梶西学校教育推進課長、 新川教育センター所長、高橋社会教育振興課参事兼社会教育係長、 白波瀬こども政策課課長代理兼政策係長
案件	■会議案件 （1）茨木市次世代育成支援行動計画（第4期）実施状況報告について ■その他
配付資料	資料2 茨木市次世代育成支援行動計画（第4期）実施状況報告書（案） 当日資料 事前質問への回答

発 言 者	発 言 内 容
東井こども政策課長	<p>ご案内の時間となりましたので、茨木市こども育成支援会議を開催いたします。</p> <p>本日は、大変ご多用のところ、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>なお、本日は、新型コロナウイルス感染症対策のため、会議の開催方法をオンラインによる開催とさせていただきます。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の委員の出欠状況について報告いたします。</p> <p>公募市民、棚田智世委員。私立幼稚園保護者、前田由香利委員。あけぼの学園親の会会長、加藤委員。私立幼稚園連合会、茨木高美幼稚園園長、北野圭子委員。民生委員児童委員協議会監事兼主任児童委員部会部会長、西之辻功委員につきましては、欠席の連絡をいただいております。</p> <p>なお、茨木市PTA協議会（幼稚園）、濱里沙委員、PTA協議会（小・中学校）、石井頭太委員につきましては、遅れて出席していただけるものと考えております。</p> <p>つきましては、本日 20 人の委員のうち 13 人に出席をいただいております。また、神戸総合速記株式会社が会議録作成のため、この会議に同席しております。</p> <p>それでは、茨木市こども育成支援会議条例第 6 条第 1 項の規定により、会議の議事進行を福田会長にお願いいたします。</p>
福田会長	<p>皆さん、こんばんは。よろしくお祈いします。</p> <p>それでは、本日の会議は、先ほど報告がありましたように、半数以上の委員に出席いただいておりますので、こども育成支援会議条例第 6 条第 2 項により成立しております。</p> <p>なお、審議内容につきましては、これまでどおり、発言者のお名前をつけて公表させていただきたいと考えておりますが、この件につきましてご異議ございませんでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、会議録作成の関係上、どなたが発言されたのか分かるように「〇〇です」と発言者名をおっしゃってから、発言をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、前回に続きまして、実施状況報告書の 53 ページから 83 ページ、小・中学校期につきまして、ご意見、ご質問がございましたらお受けしたいと思います。</p> <p>（質問者なし）</p> <p>特によろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、次のパートに移ってまいりたいと思います。</p> <p>次は、84 ページから 93 ページ、青年・若者期につきまして、ご意見、ご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p>

(質問者なし)

よろしいですか。それでは、特にご意見なしということで、進めさせていただきたいと思います。

続きまして、94 ページから 123 ページで、「社会的な支援が必要な子どもや家庭への支援の展開」について、ご意見頂戴したいと思います。いかがでしょうか。

こちらもよろしいでしょうか、ご意見なければ先へというところになりますが、よろしいでしょうか。

(質問者なし)

ありがとうございます。

それでは、次でございますが、124 ページから 130 ページまで、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた施策の展開」について、ご意見、ご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

(質問者なし)

特にございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、いよいよ最後になりますが、131 ページから 145 ページ、「社会全体で子育て家庭や子ども・若者を支援できる環境づくり」につきまして、ご意見を頂戴したいなと思いますが、いかがでしょうか。

(質問者なし)

よろしいですか。

どうでしょうか。私、何年か茨木市のこの会議の会長をしているのですが、これまでの私のイメージでは、茨木市の委員の皆さんは、たくさん発言して下さって、2 時間で会議を終えるのがなかなか大変という中で、会長として早く先に進めようと思すと、委員の皆さんからもっと議論させてほしいと、お叱りを受けるような場面もあったと思っていますのですが、オンラインになると少し感じが変わるんですかね。

それから、今回、事務局としては、委員の皆さんに十分議論いただく時間を取りたいというところで、あらかじめ資料を送付することによって、事務局の説明を省きながら進めていくという形でご準備いただいたのかなと思いますが、そうなりますと、ポイントを絞ってご意見を頂戴するのがなかなか難しい場面もあるのかなと思いますので、次回から進め方を少し再検討してもいいのかなと思います。

市のご担当の方からは、それぞれのパートごとに特にご意見を頂戴したいところや、大きく達成したところについてご報告いただいたり、施策がうまく進まないところをご報告いただいたりして、委員の皆さんからご意見を頂戴するという形で、次はやってみてもいいのかなと思います。今回予定していた案件は、以上となりますが、まだたくさん時間はありますので、委員の皆様方には、前回、それから今回の案件も含めまして、どこからでも結構ですので、一言ご意見を頂戴できればありがたいなと思います。

今回、事前に資料をお送りし、主に、加藤委員と宮島委員から多様な観点から事前の質問、ご意見を頂戴しておりまして、ありがとうございます。事務局から

	<p>の回答を踏まえて、宮島委員、どうでしょうか、ご感想なりご意見なりあれば頂戴したいなと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
<p>宮島委員</p>	<p>宮島です。</p> <p>私自身は、オンラインそのものの操作については全然問題はないのですが、こういう場面設定になると非常に発言しにくいですね。事前にコメントくださいということで質問を返したのですが、納得しているわけではなく、ただ、それについて対面だったら率直に言えるのですが、オンラインの席では発言を控えておりました。</p> <p>前回申し上げた、子どもさんの通園バスへの置き去り事故の件ですが、先週の土曜日にも、また起きているのです。3人のお子さんがいらっしゃって、お父さんが車で保育園に送っていくということだったのですが、マスコミでも結構取り上げられているので、私もすごく気になっていて、前回の話の結論も、正直言って納得できていないのです。なぜ納得できていないかという、この真の原因がどこにあるかということを追及しないままに対策を取っているような気がしていて、これではまた起きるのではないかなと思っていたら、案の定起きてしまったと。先週の土曜日の事故は少し形が違いますが、保育所にも関係があって、保護者から事前に登園しますと連絡が来ていたので、本来、来てなければ確認するということになっていたようなのですが、それが出来ていませんでした、したつもりになっていましたと、マスコミの報道の中で、行政の方がお答えになってらっしゃったみたいです。</p> <p>要は、これまでの対策では、漏れるところが必ず出てくるので、なぜこういう事故が起きるのかという真の原因を突き詰めた対策を考えるべきだと思います。分析評価の部分のコメントですが、原因をきちんと分析されていますか。私が知らないままに申し上げるのは非常に申し訳ないのですが、それが出来ていないように思います。</p> <p>私は以前、品質保証の担当をしていたのですが、原因分析のごく素朴なやり方として、なぜなぜ分析をやっていました。真の原因がどこにあるのか、品質を阻害する要因がどうして発生したのかという部分の分析になぜなぜ分析を使っていました。例外事項が発生すると必ずリスクが大きくなって、場合によれば人の命を失うという事態が発生するということは、十分考えられますよね。</p> <p>今回も、お父さんが子どもさんをいつも保育園や認定こども園に送っていたものの、何かの事情で送る順番を変えたのかもしれない。そうすると、送ったつもりになって1人の子どもが残っているということに全く気付かなかったと。</p> <p>それからもう一つは、保育所の側ですが、保護者から登園の連絡がきていて、まだ来てないねということには気づいていたのですが、何かの事情で確認の連絡が出来ていなかったと言われてますよね。その事情が、一体何だろうと考えるべきだと思うのです。</p> <p>ノーマルケースであれば、マニュアルがきっちり徹底されていれば、問題なく運営できると思うのですが、当日、幼稚園バスを運転する人がお休みになって</p>

	<p>しまった等のノーマルケースでない事態になると、よほど気をつけないといけな いと思うのです。通常の原因分析では、ノーマルケースに対する対応程度で、そ れで進んでいるのではないかと思います。</p> <p>この事故はヒヤリハットを含めて、今後絶対ないとは言い切れないと思いま すので、例外ケースについても、しっかり原因も含めて検討しないと、いつか漏れ が出てくるという気がしています。つまり、ノーマルケースだったら全然問題な いと思うのですが、例外事項の発生リスクをしっかりと考えた上での対策が取れて いないのではないかと考えているのです。</p> <p>あと、もう一つだけ気になっていることがあります、続けてもよろしいでし ょうか。</p>
<p>福田会長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>宮島委員</p>	<p>私、青少年健全育成の活動をしていまして、結構長いことやっているのですが、 学校でもしっかり交通安全教室はされていますし、私どもの健全育成会の活動の 中でも、行事として自転車の安全点検の教室や、交通安全教室を市と警察の方を お招きしてやってはいるのです。今、私どもが接触してる小学校ですと、6年間 に2回、交通安全教室をされていて、例えば1年生と4年生という形でやってい るようですが、小学校に上がって行動範囲が広がってくる年齢、魔の7歳と言わ れていますが、子どもが交通事故で死亡する割合が7歳前後で非常に増えている みたいで、今の交通安全教室は、子どもの特性を考えた上での対策ということ を考えた場合、少し不十分なところがあるのかなと。</p> <p>それから、ルールの徹底なのですが、やり方自体が、明日からきちんと活かせ るような形にはなっていないのです。自分たちの生活の中に密着した事例を入 れた形で、明日から活かせるような形のルールの徹底の仕方をさせないと、子ども は次の日にはもう全然覚えていないという部分もありますし、理解できないと思 います。6年に2回だけでは不十分だと警察にも申し上げたことがあるのです が、教え方自体も一般的なものになっているのではないかと思います。</p> <p>あとは、子どもの交通安全に関しては、親が必ず関与するわけです。例えば、 自転車の交通ルールの扱いに関して、学校で習うことと、家で親がやっているこ とは実は違っていたりするのです。茨木市内で歩道がきれいに整備され、歩道が 広く取られていって、その隣に自転車専用レーンができています。自転車 専用レーンを走行する子どもさんはいません。親が、歩道に入ってきて歩行者を 危険にさらすような走行をしていて、子どもたちはそれを見ているので、6年間 に2回、交通安全教室をして、自転車だったら自転車走行レーンを通行しましょ うと教えても定着しないので、親についても教育が必要ですと申し上げたこ もあるのです。</p> <p>それと、教え方についても内容を吟味して、明日の生活にしっかり自分の身近 な問題として生きるような形のルールの徹底を教えるようなやり方にしないと、 いつまで経ってもこういう事態は解消しないのかなと思っています。</p> <p>2つのお話をしたのですが、どうも形式的にやっている気がするということが 言いたいなと思っています。</p>

	<p>すみません、以上です。</p>
福田会長	<p>宮島さん、どうもありがとうございました。</p> <p>いろんな示唆に富むご発言をいただけたかなと思いました。</p> <p>私なりにまとめさせていただきますと、やはり事故が起こったときに、その本質がどこにあるのかということをしっかり分析する必要があるということですね。</p> <p>あと、事故の件につきましては、ノーマルな部分だけではなくて、例外的なことが起こったときにもしっかり対応できるように準備しておくことが必要だというご指摘で、全くそのとおりにかなと思いました。また、私の発言の後にご意見を頂戴できればと思いますが、今回起こったような事案が茨木市では絶対起きないよと言い切ることができるかということ、やはりそれは難しいかもしれないですよ。そこをぜひ、茨木市では大丈夫だよと言える状況を今後作っていく準備をしていく必要があると思いました。それが、まず1つ目でございます。</p> <p>2つ目は、交通事故に関する交通安全教室の件で、6年間で2回というのは少ないということですよ。それから、回数だけではなくて、中身の問題もあるだろうということで、私も、なるほどなと思いながら聞かせていただきました。</p> <p>特に、子どもが実生活の中で使えるような教室にしなければいけない。いわゆる形式的に教室をやってるだけでは駄目ですよというところで、今後、各種の事業を展開していく中で、事業が予定どおりの回数できているから良いということではなく、むしろその中身を問う、そういった時期に来ているのだろう、そういったご指摘を受けたのではないかなと思います。</p> <p>今後、事業の実施状況報告書の中では、実際それが効果的だったのかどうか、そういったことも分析していただくことが求められているというご指摘だったのかなと思いました。</p> <p>宮島さん、内容をまとめてみましたが、このような感じでよろしいですか。</p>
宮島委員	<p>ありがとうございます。</p>
福田会長	<p>実際、子育てをされておられる親御さんや、事業者の方々、今いただいたご意見に関わる皆さんもいらっしゃるかなと思います。それでは、続いてご意見を頂戴できればありがたいなと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>では、脇條さん、お願いします。</p>
脇條委員	<p>交通安全に関することなのですが、子どもが自転車を練習する場所が、市内には多分ないのではないかなと思うのですが、自分が子どもの頃は小さい交差点や信号があるような、自転車のルールを学べるような場所があったので、市内にも何かそういう場所があればいいなと思いました。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局の皆さん、自転車の練習をしたいとなったら、どこに行ったらよろしいですかね。何かそういう所はありますか。</p> <p>(回答者なし)</p> <p>あまりないのかもしれませんが。実際、子どもたちはコマをつけて走り出した後、コマなしにしてうろうろし出すと思うのですが、そうになると、やはり危ない</p>

	<p>ですよね。実際、練習したり、交通ルールを教えたりするときに、どこで教えたら良いのだろうかということは一つ、課題としてあるのかもしれませんが。また今後、公園整備等をしていただくと同時に、ご準備いただくようなことも考えていただければと思います。</p> <p>それでは、上田さん、よろしくお願いします。</p>
上田綾委員	<p>つどいの広場でスタッフをしております、上田と申します。</p> <p>来週、つどいの広場で自転車に安全に乗ろうという企画をしまして、乳幼児をお持ちの保護者向けの講習で、茨木警察署から来てもらうのです。予約制で5組という少ない人数にもかかわらず、皆さんになかなか興味を持ってもらえないので、理由を聞いてみると、乗り方を間違えているのが分かっているので、お巡りさんに怒られそうだからという意見がありました。なぜ、このつどいの広場で交通安全教室をしようと思ったかと言いますと、赤ちゃんを抱っこひもで前に抱っこして、自転車に乗ってびゅんびゅん飛ばしているお母さんや、自転車の後ろに子どもを乗せたままその場を離れたりするお母さんに出くわすことが多くて、ハラハラすることがあったので企画をしたのです。</p> <p>あと、他のスタッフが、大阪市の浪速警察署で交通安全教室をしていた様子をテレビで見たようで、電動自転車のメーカーの方に来てもらって、電動自転車の選び方や、カバー等のグッズ紹介をくっつけて、お母さんたちに興味を持ってもらって、そこで交通安全の啓発もするというもので、お母さんたちがすごくたくさん集まっていたという話を聞いたので、一広場の教室にメーカーさんと呼んでも小規模で来てもらえないと思いますし、茨木市でもらえたら、お母さんたちの啓発にもなって事故も少なくなるのではないかなと思いました。</p>
福田会長	<p>上田さん、どうもありがとうございました。</p> <p>宮島委員のご意見と合わせて、親にも学んでもらう必要があるものの、やり方によって集まる場合と集まらない場合があるということがよく分かりましたので、もしよければ、その広場の協議会のようなところで議論いただいても面白いでしょうし、事務局のほうで、例えば、市民会館跡地で、今色々な取組をやっていて、人が賑わう催しものをたくさん準備しておられると思うので、そのときに、立ち寄ったついでに電動自転車の選び方や乗り方を学ぶ機会などを作ってもらえたら良いのかもしれません。</p> <p>ありがとうございました、ご意見や各種団体で取り組まれていることもご紹介いただけたので、良かったなと思いました。</p> <p>ほか、いかがでしょうか。</p> <p>宮島委員がおっしゃってくださった2件にかかわらず、多様なご意見を頂戴できればと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>それぞれの委員の問題意識や、今回この会議に参加するに当たって考えていることなど、一言、二言ご披露いただければ、今回お集まりいただいた意味も出てくるかなと思いますので、1人一言ずつは何かご意見を頂戴するような形で行きたいなと思っております。</p> <p>それでは、三角委員、いかがでしょうか。実際、今、施設でやっておられる中</p>

	<p>で、先程のご意見等も踏まえて何か教えていただければと思いますが、お願いいたします。</p>
三角委員	<p>私立保育園連盟の三角です。</p> <p>私も、先程宮島さんがおっしゃった、子どもの残念な事故がすごくショックだったのですが、今回のご家庭は2つの園にまたがって子どもさんを預けておられたので、兄弟で別々の園に送り迎えをしなければならず、これは茨木市でも実際あります。兄弟加点というのがあって、幾らかポイントは上がるのですが、まだまだ低いのかもしれないですね。今回の事故に関しては、いろんな原因があると思うのですが、兄弟が別々の園に行っていたということも一つの原因になっているのかもしれないですね。こういう事故をなくしていくためには、リスクを少しでも減らしていくという方法が必要なのではないかなと思います。もちろん、欠席の連絡、確認はもちろん各園でされていると思うのですが、今回の場合は抜けていたと思います。ヒューマンエラーといいますか、やはりミスというのは起こり得ることですが、できるだけリスクを少なくしていく方法が、何かないものかなということを考えていかないといけないのかなと思います。</p>
福田会長	<p>三角委員、どうもありがとうございました。</p> <p>本当に具体的なご意見をいただけたかなと思いますし、実際子育てをする中で、2か所の保育所、幼稚園にまたがって、送り迎えをしたことがある方、もしくは、今されている方もこの中にいらっしゃるかもしれません。朝の時間に1人だけでも大変なのですが、2人、3人は本当にしんどいなというところで、そういったことが今後なくなっていくような方向性が探れるといいのだろうなと思いました。</p> <p>事務局、いかがですか、加点の見直し等、今後予定はありますでしょうか。</p>
下菌保育幼稚園事業課長	<p>保育幼稚園事業課長の下菌です。</p> <p>先程、兄弟加点の関係で、三角委員からご意見いただきました。現在、令和5年度の一斉受付をしているところですが、兄弟加点につきましては、今回から一部見直しをさせていただいて、できるだけ兄弟で同じところに行けるよう、一定配慮させていただいているところですが、</p> <p>また、今年度の利用調整の結果などを踏まえ、今後も必要に応じて見直し等は検討していきたいと考えております。</p>
福田会長	<p>事務局、どうもありがとうございました。今後、検討を進めていただければと思います。</p> <p>それでは、下田平委員、いかがでしょうか。</p>
下田平委員	<p>下田平です。</p> <p>民生委員・児童委員の主任児童委員をしまして、そこで子育てサロンをさせてもらっています。主任児童委員ということで、しんどい家庭への支援が割と多いのですが、学校と連携して、以前からスクールソーシャルワーカーさんと一緒にいろいろと活動させてもらっています。</p> <p>今回、この実施状況報告書を見させてもらって、スクールソーシャルワーカーさんも1人で中学校2つを受け持たれているということで、私たちと一緒に関わ</p>

	<p>ってもらった時間が増えたのかなと思うのですが、コロナ禍だからなのか、いろんな問題がすごく出てきているなという感じはします。何か今まで見えなかったことや、しんどさも出てきて、すごく忙しい毎日です。こども食堂もやらせてもらってしまっていて、今はコロナ禍なので月1回だけなのですが、150食のお弁当を作ってお持ち帰りをしてもらっています。あと、毎週火曜日は学習支援と食事支援をやらせてもらっているのですが、月1回の食堂に関しては、全ての方、皆さんにどうぞという感じにさせてもらってしまっていて、後の分に関しては、本当にしんどい家庭の学習支援、食料支援をやっていきます。子どもだけの支援というより、親御さんへの支援が問題で、子どもさんの問題は、親御さんにあるのかなと思います。</p> <p>それと、こども食堂をやっていて、今、大阪府から、こども食堂を通じての食事支援ということで、毎月食料を提供してもらってまして、しんどい家庭に持って行ってお渡ししているのですが、正直、いつまでこういう状況が続くのかなと。いつまでも物を提供するだけではなくて、次のステップがすごく大事ではないかなと、今感じているところです。</p>
福田会長	<p>下田平委員、ありがとうございます。</p> <p>主任児童委員として、様々な子どもに関わる場面で、ご活躍いただいているということから、それを踏まえて、いろんな提言をいただけたかなと思いました。特にしんどい家庭について、まずサポートしていくことは、もちろん必要ですが、それだけにとどまらず、自立していけるような支えも、今後必要になってくる。きっと、その必要性を実感してくださっているのかなと思いました。</p> <p>下田平さん、そういうことですかね。</p>
下田平委員	はい、そうです。
福田会長	<p>ありがとうございます。例えば、ひとり親家庭の部分とか、いろんなメニューがあるのですが、十分になり切れてないところを、実感してくださってるのかなと思いました。また、ぜひ引き続き地域で、子ども、家庭の支援をしていただいて、この場でいろいろご披露いただければと思います。</p> <p>それでは、濱園委員、お願いします。</p>
濱園委員	<p>濱園です。</p> <p>去年、こども食堂の話で、この会議がかなり盛り上がった記憶がありまして、地域としては、こども食堂の支援はすごく助かるなとは思っているのですが、茨木市としては、逆にこども食堂の要らない社会づくりを目指してほしいなと正直思っています。それがどういう形であるべきかは全然分かりませんが、ずっと地域で親御さんを支えることももちろん必要だと思いますが、それが必要にならない社会づくり、地域づくりが何か出来たらいいなと思います。以上です。</p>
福田会長	<p>濱園委員、ありがとうございます。</p> <p>そうですね、私も児童虐待の防止などの活動をする中で、そもそもそういった活動がなくなればいいのになと思いつつ、なかなかそれがなくならないのが、ここ数年の現状なのかなと思っておりますが、こども食堂でなければご飯が食べられないという子どもがいない社会を目指していくことは、きっと必要なの</p>

	<p>だろうと思っております。</p> <p>それとあわせて、最近よく使われる言葉、サードプレイスという言葉もございますよね。学校、自宅、もう一つ居場所が欲しいなといったときに、貧困だから利用するというのではなくて、地域の結びつきの一つの場所として、こども食堂や学習支援の場が、より豊かになっていくということも必要になってきているのかなと思いました。</p> <p>他いかがでしょうか。順にお話を伺っていきいたいと思いますが、大高さん、お願いできますでしょうか。</p>
大高委員	<p>はい、大高と申します。</p> <p>私自身は、今、5歳の子どもの子育てをしているのですが、この前、とあるおばあちゃんに孫が産まれたそうで、上の子が発達に問題があるということを市の発達検査で言われて、さらに、下の子も生まれたので、お母さんがすごく塞ぎ込んでしまって、おばあちゃんが発達に問題がある上のお子さんを預かることがすごく多くなったらしいんです。ただ、そのおばあちゃんは、自分のお父さんとお母さんの介護もしないといけなくて、さらに孫も預からないといけなくなって、パンクしそうだという方がいらっしゃったので、つどいの広場であったり、子育て支援関連の行事をいろいろご案内して、それに行かれたそうです。なかなかそういう情報が、お母さんをサポートしているおじいちゃんやおばあちゃんにまで、あまり行き届いていないのかなということとそのとき感じたのと、今回、この資料を拝見させていただいて、子育て支援サービスの充実という欄が、AやB評価がついてるものがすごく多いなと思ったのですが、実際、私が先程のおばあちゃんの話を知ったり、子育てをしている別のお友達から、子育て支援サービスを利用したいけど、どうやって利用したらいいかわからないし、どこに聞いたらいいのかわからないという話を聞いたりすると、実際の子育てしているお母さんの感覚と、この資料の評価に若干の乖離があるのかなと思いました。市ですごくたくさんの方の施策を打ってらっしゃると思うのですが、たくさんあり過ぎて、市としてどれに重きを置いているかが、なかなか判断がつかなかったのもう少し市民に対して分かりやすいものがあつたらいいなと思いました。</p>
福田会長	<p>大高さん、ありがとうございました。</p> <p>本当、そうですね。こういった会議に出て初めて、こんなにたくさんの方の施策があるということを知るようになるわけですが、きっと一般の市民の皆さんは、こんなにたくさんあるということを知らない方が多いかもしれないですね。支援を必要としている人たちに、これらのサービスをどう届けていくのか、どう周知していくのかということが、引き続き課題になってくるのかなと思っておりまして、前回、アプリがありますよという話をしたと思いますが、そのあたりどの程度の周知が進んでいるのか、検証していただいてもいいのかなと思いました。</p> <p>それからもう一点、ここはこども育成支援会議の場ではありますが、子育てと介護が一緒にやってきた場合、とても大変ですね。これが、きっといろんなところで起きているわけで、そういった場合、どこに相談に行ったらいいだろうか、</p>

	<p>もしくは、ぜひ相談してほしいなと思うわけですが、どこに相談行ったらいいですかね。やはり、うろうろ市役所を回る必要がございますか。もしくは介護だったら、ケアマネのところに行かないと、という話になってきますかね。やはり、生活に困った人がワンストップで一定の必要な支援が受けられるように、今後ご検討いただけるとありがたいのかもしれませんが、よろしく願いいたします。</p> <p>大高さん、どうもご指摘ありがとうございました。あわせて課題を抱えるご家族がいらっしゃるということを確認しながら、事務局にも施策の進め方を考えていただきたいということと、もう一点は、AやBの評価が多いが、実際、子育てしている人たちの感覚と合っていないのではないかとということですよ。茨木市のみならず、日本が本当に子育てしやすい国と言えるのかということ、多分そうではないので子どもが減っているという現状がきっとあるんだろうと思います。そこをどう捉えていくのか、総合的な施策を打っていただきたいなと思います。</p> <p>それでは、久保委員いかがでしょうか、お願いいたします。</p>
久保委員	<p>久保と申します。</p> <p>今、6歳と3歳の子どもを育てているのですが、この資料のワークライフバランスのこの項目を見たときに、子どもを産むときに仕事を辞めないといけなくて辞めたのですが、子育てしながらずっと、私も働きたいなと思っていて、来年から下の子が幼稚園、上の子が小学校になるので、パートでもいいから取りあえず働きたいという気持ちはすごく強くあるんです。ただ、幼稚園の延長保育はあるので、この曜日のこの時間お願いしますとって、空きがあれば行けるということは分かったのですが、今度、上の子が小学校になるので、学童保育みたいなところで単発的に預かってもらえるのかなと思っていたのですが、そういうことはできないよと聞きました。昼1時から5時まで、週4回～5回、きっちり勤務をしているという会社の証明書がないと、まず学童保育に入れないし、そもそも学童保育に入るのも狭き門だよということを知って、小学校1年生の上の子はどうしたらいいのかなと。私が知らないだけなのかもしれないのですが、パートで例えば週2回ぐらい夕方5時まで働きたいという人のために、小学校1年生を預かってくれるような場所は市としてありますか。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>具体的な事例に基づいて、どうやったら働けるかというところがございますが、事務局、いかがでしょうか。</p>
山内学童保育課長	<p>学童保育課の山内です。今、久保さんがおっしゃっていただいた学童保育室の入室要件は、授業の終了後から午後5時まで、保護者が就労、疾病その他の理由により、家庭に不在である状態が一定期間継続される方が対象で、久保委員の場合、お聞きする中では、その要件を満たしておられない状況になっていると思われます。詳細は、ご相談いただければと思うのですが、今ちょうど、継続の方の受付を始めておりまして、また12月に、令和5年度の受付も開始しますので、窓口でも、お電話でも個別に相談させていただきます。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今のお話では、やはり週に2日ぐらいでは難しいという感じなのかもしれない</p>

	<p>ですね。例えば、ファミリーサポートセンターでサポートできたりはしないですかね。村上さんどうですか。</p>
村上子育て支援課長	<p>子育て支援課の村上です。会員登録等の手続は必要ですが、ファミリーサポートセンターをご利用いただきながら、就労していただくことは可能です。サービスをご利用いただきながら、自己実現も進めていただければと思います。</p> <p>また、先程、子育て支援関連の情報が必要な方に伝わっていないというご意見もいただきまして、そういった情報がきっちり伝わっていないところは痛感しておりますので、ホームページ、SNS、LINE等、高齢の方には広報誌も活用しながら、情報提供を進めてまいりたいと思っております。</p>
福田会長	<p>村上さん、どうもありがとうございました。</p> <p>久保さん、ファミリーサポートセンター事業という事業がありまして、依頼会員と提供会員がありますが、依頼会員になっていただいて、週2回ぐらいお預かりいただける提供会員とうまくマッチすると、上のお子さんをそちらで預っていただきながら、お母さんが働くという面も出てくるかなと思いますので、ぜひ諦めず、多様なサービスをご活用いただきながら、自己実現を図っていただきたいなと思いました。</p>
久保委員	<p>ありがとうございます。ファミサポ会員なのですが、使ったことがなかったので、検討させていただこうと思います。</p>
福田会長	<p>それでは、上田さん、お願いできますでしょうか。</p>
上田沙知絵委員	<p>初めまして、上田です。</p> <p>私、5歳になる子どもがいます。保育所に預けているのですが、保育所に駐車場がないので、車をどうしても路上に駐車することになってしまって、周りのお家の方や、警察の方からも結構苦情が来ているので、保育所の保護者会の話になってしまうのですが、駐車場を造っていただけないかなと言われているので、それについてはどこで相談したらいいのでしょうか。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。車で送り迎えしたときに駐車場がないという、具体的な課題ですね。</p> <p>これは、事務局としては、保育所等の駐車場の事情について、何か情報を集めていたり、何か同じような相談があったりするのでしょうか。</p>
中路保育幼稚園総務課長	<p>保育幼稚園総務課長の中路です。</p> <p>駐車場の件ですが、保育幼稚園総務課では、主に公立保育所を管理運営しているのですが、そういった保護者の方からのお声はあります。ただ、所庭や園庭を潰して駐車場を造るとなると、かなり大がかりにもなりますし、また、子どもの活動スペースが減ってしまうという課題もありまして、なかなか現状では難しいですと、保護者の方にはお答えしております。今後、仮に園舎の建て替えや、大きな改修工事があれば、そのタイミングで何か考えられるのかなと検討はしていますが、今すぐとなりますと、難しいというお答えになってしまいます。</p>
福田会長	<p>ありがとうございました。直ちには難しいということで、お子さんが5歳ということでしたので、駐車場が欲しいなと思われているうちに卒園してしまうような流れになってしまうかもしれません。</p>

	<p>先程の子育てしやすい街かどうかというところに関連して言いますと、私、大学の教員として、たまに海外の福祉事情を見て回ることがあるんです。海外に行かれたことがある方であれば、あったなと思われる方もいらっしゃると思うのですが、学校や保育所の近くでは、車はゆっくり走りなさいとなっていて、ものすごく車としては行きにくいんですね。また、国によっては小学校であっても親が送り迎えをする必要のあるところは相当ありますので、そうすると、送り迎えの時間、学校の近くが渋滞するということは、社会的な合意があるのです。では、日本の社会で、子育てしている人たちが車で何かしたときに、仕様ないよねとなり得ないのです。それは、この間あったバギーを電車に乗せるか、バスに乗せるか、そういった問題にもつながって考えることができるのではないかと思うのですが、子育てしているときは本当大変なんだということを、みんなで合意しながらやっていけたら、わざわざ駐車場を造らなくてもいけるのですが、今の日本はまだそこまでは行ってないなという気がしているところです。今すぐ駐車場を作るということは難しいというお答えかなと思いますが、きっと事務局としても課題としては認識してくださっていると思いますので、今後、建て替え等がある際は、ぜひ駐車場のことも考慮していただけるといいのかなと思いました。</p> <p>上田さん、貴重なご意見、どうもありがとうございました。</p>
上田沙知絵委員	ありがとうございます。
福田会長	それでは、次、西川さん、お願いできますでしょうか。
西川委員	<p>はい、西川です。私自身、働きながら5人の子育てをしてきたのですが、もう35年ぐらい前のことなので、今現在の市の子育て支援制度の内容をあまり把握できてなかったりするのですが、今、特に思うことは、近所にあまりスポーツに適した空き地や公園がなくて、スポーツしたい子はどうしているのかなということです。こども会や、スポーツ少年団、あと中学校、高校の運動部は確かにありますし、よく自転車で列になって走っていたりするところもよく見かけるのですが、スポーツをするためには保護者のエネルギーがすごく必要だなということは、昔も今も変わらないなと思っていて、もっと簡単に、気軽にスポーツを楽しめたら、大きくなってもまた体を動かしたり健康にもつながったり、お友達や人間関係に、役にたったりすることもあるのではないかなと、最近よく思います。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。海外と比べたら、日本は圧倒的にスポーツをする場所は少ないですね。テニスしようかと言って、気軽に出来るかといったら、多分できないですし、公園に行ってもボールは使えないところが結構多くて、これもまた子育てのしにくさに繋がっている一因かなと思います。</p> <p>何か、茨木市内で子どもがよりスポーツしやすいような、子どもが体を動かしやすいようなところについてフォーカスしながら整備されているようなところはあるのでしょうか。</p> <p>市役所の前の運動場もなくなりましたので、あそこでスポーツしていた人たちは大変だなと思ったりしながら、替わりの公園がどこかに出来たのであればいい</p>

	<p>など思っております。子育てのしやすさを考えたとき、子どもが少し体を動かしたいなというときに、気軽にできるところを増やしていただきたいというご意見だったと思います。機会がありましたら、こども育成支援会議で大きな課題として取り上げられているということを他の部署と共有していただき、子どもが遊ぶ広場、運動公園のようなものを広げていただければと思います。</p> <p>それでは、濱さん、お願いできますでしょうか。</p>
濱委員	<p>濱です。私も、来年小学校になる子どもがいて、この間、就学前健診に行ってきたのですが、結構待ったり並んだり、あまり効率が良くないのかなと思いつながって行っていたのですが、やることといたら本当に数分で、待った割には結構短かったなという印象を受けました。就学前健診がすごい大事なのは分かりますが、もう少し中身の濃い健診にできないのかなと思いました。もう少し、健診項目は増やせないのでしょうか。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。実際に参加された健診への感想ということですが、今日、担当課は来てないですかね。分かりました。</p> <p>皆さん参加される中で、小学校に上がる前ということで非常に期待の大きい場所になっていると思いますので、そこに行ってみて良かったなと思えるような場所にしてもらいたいということですね。</p>
濱委員	<p>そうですね、こんなに診てもらえるんだって、安心したかったのですが、項目が少なかったなと。</p>
福田会長	<p>あまり安心できる感じではなかったのですね。</p>
濱委員	<p>はい、違いました。</p>
福田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>これ、一番最初に宮島委員がおっしゃっていた、やっていますだけでは駄目ですよという部分ともつながってくるのかなと思うのですが、その中身ですね、そこに来られた方が、安心して預けられるなど思っていただけのような場所になるようにしていただきたいということで、担当課にご意見を連絡しておいていただければありがたいなと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、最後になりますが、普段なかなか親と一緒に暮らせない子どもたちを24時間見てくださっている、救世軍希望館の畑瀬さんにご意見を頂戴したいなと思います。よろしく願いいたします。</p>
畑瀬委員	<p>救世軍希望館の畑瀬と申します。</p> <p>昨年度から会議に参加させてもらっておりまして、Z o o mということで、なかなか雰囲気が分からず難しいところはありますが、本当にいろんな茨木市の施策を勉強でき、とても有意義に感じております。ありがとうございます。</p> <p>我々は、様々な事情があって親と生活ができない子どもたち、45名程と生活しておりますが、入所してくる子どもたちの現状として、入ってくるまでに相当厳しい生活を強いられてきた子どもが年々増えてきています。市の施策の中にもありますが、子どもの虐待をどうやって防いでいくかということが非常に問題となっておりますが、ここに入所してくる子どもたちは、ほぼ虐待が絡んでいるといっても言い過ぎではないくらい、本当に増えております。それをいかになくし</p>

	<p>ていこうかということは本当に難しい問題で、市でもいろんな施策を考えてくださっていますが、行政ではない周りのサポート、それこそ近所さんのサポートもやはり非常に重要になってきますので、先ほど会長がおっしゃったように、みんながどのような意識を持って生活するかということが本当に大きいので、その辺りをいかに構築していくかということも必要になってくるのかなと思っております。虐待の問題は、これからますます市町村が担う役割が大きくなってくると思っていますので、茨木市さんも大変かと思いますが、虐待にさらされる期間が短ければ短いほど、子どもたちのその後の回復は早いような気がしますので、そういう子どもたちをいかに早く見つけ出して、家族全体をサポートしていきながら、また、難しいケースであれば、親子分離をいかに早く進めるかということも、本当に大事になってきますので、それを前線担っていかれる茨木市さんには、これからぜひ頑張っていたきたいと思っております。</p>
福田会長	<p>畑瀬委員、どうもありがとうございました。普段、本当に大変なお子さんを見ていただいていることと思っております。</p> <p>各委員からご意見を頂戴することで、今日来てくださっている市の担当の皆さん方が、それを実際の施策の遂行の中で活かしてくださると思っております。今日は、本当に貴重なご意見をたくさん頂戴できたなと思っております。</p> <p>全体としてはここまでかなと思っておりますが、これも言うておきたいなということがあれば、ご意見を頂戴したいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>では、脇條委員、どうぞお願いします。</p>
脇條委員	<p>先程、お話のあった保育園の駐車場の話なのですが、何か送迎保育ステーションというものを持っている自治体もあるようで、駅で親が子どもを預けて、そこからバスで遠方だったり、いろいろな保育園に送迎を行う仕組みのようで、単純に駐車場を広げるとなると難しいと思うのですが、他の自治体の取組を調べてみると、意外と解決策があったりするようなこともあるのかなと思われました。</p>
福田会長	<p>脇條委員、どうもありがとうございました。</p> <p>実はそういった自治体は結構ありまして、親が子どもを一か所に連れていくと、まずはそこで子どもを受け渡して、親御さんはそこからお仕事に行かれて、子どもたちはそこから特定の保育所に連れていってもらって保育を受けるというパターンなのです。保育サービスを利用されている方が何を求めているかというと、結局、近いところ、便利なところなんですよね。そういったことも、今後検討いただけるのかどうなのか、市でそういったことを考えたことはございますか。</p>
中路保育幼稚園総務課長	<p>保育幼稚園総務課長、中路です。脇條委員がおっしゃった事例について、他市に実際見に行かせてもらったりもしたのですが、茨木市の全部の施設を含めても、定員を弾力化して受け入れている状態で、中心地から他のところに運べないという状況です。ただ、今後子どもが減ってきたときに、空きが出てきたときは、そういったことも一つの方法として検討しております。</p>
福田会長	<p>ありがとうございました。検討してくださっているということですので。先程の送迎のパターンの場合、不便なところの保育所が空いているというところが一つの</p>

	<p>鍵だったりするのですが、茨木市の場合は、まだまだ一杯だということもあるのかもしれませんが。検討いただいているということでございますが、上田委員、すみません、1年、2年では難しいかもしれませんが、いつか出来るかもしれないと思っておいていただければ、ありがたいなと思います。</p>
上田沙知絵委員	<p>ありがとうございます。</p>
福田会長	<p>ありがとうございました。脇條委員、貴重な情報をありがとうございました。他はいかがですかね、よろしいでしょうか。</p> <p>(質問者なし)</p> <p>ありがとうございます。やはり対面で出来れば、いつか対面でやってみてもいいかなと思いましたが、また、今、コロナの感染者は増えてきているんですね。そちらはそちらで本当に心配なことだと思いますので、感染のリスクがない形で会議ができるというのは、ひとつ大きなメリットでもあろうかと思ひますし、ぜひ安全にお目にかかれる時期になりましたら、また皆さん方と対面で会議を進めていけることを願っております。</p> <p>今回、皆さんから貴重なご意見をたくさん頂戴しました。本当にありがとうございます。</p> <p>それでは、今日の会議は、ここまでとさせていただきます、今後のこども育成支援会議の日程について、事務局から説明をお願いしたいと思います。</p> <p>事務局、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>次回のこども育成支援会議は、来年2月に予定しております、また後日、来月になりますが、日程調整をさせていただく予定です。</p> <p>会議案件につきましては、本日ご審議いただきました「次世代育成支援行動計画に係る実施状況報告書」の残りの部分と、「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員の確認」等を予定しております。以上です。</p>
福田会長	<p>はい、事務局どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、これをもちまして第48回こども育成支援会議は終了とさせていただきます。</p>